

2018年度慶應義塾大学文学部英語

(I) サリンジャーを含むほとんどの現代の成人することに関する文化が生じるのは、主にこの伝統からである。

(II) (C)

※'This comforting notion of coming of age' は、一つ前の文にあるように「確固たる自己の完成像がある」という考えです。一方、'current thinking in psychology' は、後に述べられているように「自己は一生を通じて変化する」という考えです。この二つの考えは文章の中で対比されています。',which denies'以下の先行詞は psychology側の考えです。

(III) 確固たる自己の完成像があるという考えと、自己は一生を通じて変化するという考え。

(IV) この種の冷笑的な物の見方をした時、「自己を見つける」という考えは以前より不自然に思われはじめる。

(V) (c)

(VI) 少数派の人々は自己の定義が社会規範と合わないため、社会規範に合わせて自己を変化させることで社会の一員となることができない。それにも関わらず社会の一員となることを最重要と考えることは、少数派を無視していることになるから。

(VII) 成人期というものは単に時間の問題であり、その場合成人になるということとは成人するのに十分なだけ生きたということに過ぎない。

(VIII) Since the information from the social media is essentially unreliable, you should not believe it without consideration.